

【生産者用】

基礎GAP（麦）

工程管理を始めてみませんか！



この『基礎GAP（麦）』は

法令遵守事項、農業環境規範を **必ず実践する項目** に、
カドミウムの吸収抑制、赤かび病防止を **重要項目** にしています。

住 所

氏 名

目 次

○ チェックシート

(1) 準備 P. 1

(2) 播種準備 P. 2

(3) 栽培管理 P. 3

(4) 収穫 P. 5

(5) 乾燥・調製 P. 6

(6) 全般 P. 7

○ 来年に向けて P. 8

※必ず読んでください

記入にあたって . . .

- ・ 住所、氏名は必ず記入しましょう。
- ・ 農作業が終わったら、忘れないうちに「チェック」欄の口をチェックしてみましょう。チェックした日付を書いておくと、記録の点検の際に役立ちます。
- ・ 余白には、農作業の日付、その日のお天気のほか、農作業をしている時に気づいた点を書いてみましょう。
- ・ 「来年に向けて」は、思いついたことを何でも書きましょう。周りの生産者や産地の担当者、指導者と相談して記入すると効果的です。

(1) 準備

チェック項目	チェック (日付)
必ず実践しましょう ① 研修会参加やパンフレットなどにより情報を収集しましたか。	☐ 月 日 ()
必ず実践しましょう ② 栽培マニュアル、栽培基準を読みましたか。	☐ 月 日 ()
必ず実践しましょう ③ たい肥、麦わらなど有機物の施用による土づくりを行いましたか。	☐ 月 日 ()
カドミウム対策として重要です ④ その農地で水稻を栽培した時に、カドミウムの高い米 (0.0ppm以上) が過去に生産されていないかどうか確認していますか。	☐ 月 日 ()
⑤ 排水良好なほ場の選定、作付地の団地化等排水条件に留意するとともに、ほ場の状況に応じて排水対策の徹底に努めましたか。	☐ 月 日 ()
※チェックしたい項目を自由にならべてみましょう ⑥	☐ 月 日 ()

(2) 播種準備

チェック項目	チェック（日付）
① 種子を更新しましたか。また、種子の保証票を保管していますか。	☐ 月 日（ ）
必ず実践しましょう ② 種子消毒は部会で決めた薬剤の使用回数・使用量を守って行いましたか。	☐ 月 日（ ）
また、廃液や廃農薬はルールに従って処理しましたか。	☐ 月 日（ ）
※チェックしたい項目を自由に書いてみましょう ③	☐ 月 日（ ）
④	☐ 月 日（ ）

(3) 栽培管理

チェック項目	チェック（日付）
必ず実践しましょう ① 肥料は、栽培マニュアルによる施肥基準に基づいて施用しましたか。 特に小麦については、タンパク質含有量がランク区分の許容値の範囲となるよう施肥基準に基づいた効率的な施肥に努めましたか。	☐ 月 日（ ） ☐ 月 日（ ） ☐ 月 日（ ）
必ず実践しましょう ② 農薬は、栽培マニュアルや農薬ラベルに記載されている薬剤、使用量を守って使いましたか。	☐ 月 日（ ） ☐ 月 日（ ） ☐ 月 日（ ）
必ず実践しましょう ③ 防除には発生予察情報を活用しましたか。 赤かび病対策として重要です 特に赤かび病の適期防除の徹底に努めましたか。	☐ 月 日（ ） ☐ 月 日（ ） ☐ 月 日（ ）

チェック項目	チェック（日付）
④ 飛散低減ノズルへの交換や強風時に散布を行わないなど、農薬の飛散低減対策を行いましたか。	☐ 月 日（ ） ☐ 月 日（ ） ☐ 月 日（ ）
⑤ I P M（総合的病害虫・雑草管理）実践指標の管理ポイントをチェックしましたか。	☐ 月 日（ ）
※チェックしたい項目を自由に書いてみましょう ⑥	☐ 月 日（ ）
⑦	☐ 月 日（ ）
⑧	☐ 月 日（ ）

(4) 収穫

チェック項目	チェック（日付）
① コンバインなどの清掃を行い、収穫の際に他品種が混じらないよう注意しましたか。	☐ 月 日（ ）
② ほ場ごとの登熟状況や病害虫の発生状況の把握に努め、適期収穫を行いましたか。	☐ 月 日（ ）
③ 品質低下の大きな要因となる収穫時の雨害を回避するため、気象予報等に留意した計画的かつ効率的な収穫作業の実施に努めましたか。	☐ 月 日（ ）
赤かび病対策として重要です ④ 赤かび病が発生した麦や、倒伏した麦などは別刈りにしましたか。	☐ 月 日（ ）
※チェックしたい項目を自由に書いてみましょう ⑤	☐ 月 日（ ）
⑥	☐ 月 日（ ）

(5) 乾燥・調製〔自ら乾燥・調製を行っている場合〕

チェック項目	チェック（日付）
必ず実践しましょう ① 乾燥・調製作業の開始前に、各設備の整備・点検、故障箇所の修理を行いましたか。	☐ 月 日（ ）
また、適切な温度管理を行いましたか。	☐ 月 日（ ）
② 乾燥・調製作業の開始前や品種の入れ換え前に、各設備の清掃を行いましたか。	☐ 月 日（ ）
赤かび病対策として重要です ③ 赤かび病が発生した麦や、倒伏した麦、高水分麦などは仕分けして乾燥、調製しましたか。	☐ 月 日（ ）
④ 収穫後、すみやかに水分17%以下まで乾燥しましたか。	☐ 月 日（ ）
※チェックしたい項目を自由に書いてみましょう ⑤	☐ 月 日（ ）

(6) 全般

チェック項目	チェック（日付）
① 残留農薬やカドミウムの検査に協力しましたか。	☐ 月 日（ ）
必ず実践しましょう ② 麦わらをたい肥や飼料として利用したり、鍬き込んだりして、野焼きせず適正な処理をしましたか。	☐ 月 日（ ）
③ 肥料や農薬を整理・整頓して保管していますか。	☐ 月 日（ ）
必ず実践しましょう ④ 肥料袋などは業者委託などにより適正に廃棄しましたか。	☐ 月 日（ ）
必ず実践しましょう ⑤ 肥料や農薬の使用状況など栽培履歴の記帳を行い、購入伝票とともに保管しましたか。	☐ 月 日（ ）
※チェックしたい項目を自由に書いてみましょう ⑥	☐ 月 日（ ）

来年に向けて

反省点や改善すべき点を自由に書いてみましょう

メモ

気付いたことをメモしておきましょう

農作業の工程管理（GAP）は、
「今やっている農作業を記録に残し、
改善に役立てる」取組です



①計画(Plan)

農作業の計画を立て、
チェックリスト
(点検項目)を定めます。

②実践(Do)

チェックリストを
確認し農作業を行い、
記録します。

・ うっかり忘れたなんて
ことが防げますよ。



・ たい肥を入れたので化学肥料
はもう少し減らせたかな。
・ 発生予察情報を読んでおけば、
農薬を使わずに済んだかな。



④見直し・改善(Action)

改善すべき点を見直し、
次回の作付けに役立て
ます。

③点検・評価(Check)

記録を点検し、改善
できる部分を見つけ
ます。



肥料や農薬の使用を生産履歴記帳などで
記録していれば、それをベースに
取り組むことができます。